

## 学校教育目標

- ◎自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジする生徒の育成
- ◎広い視野を持ち、地域社会の形成にすすんで参画できる生徒の育成

## 普通科

### 笛吹高校の3年間で身に付けてほしい力

- ・自己の進路目標を明確に持ち、その目標の実現に向けて努力を行う強い心
- ・日々の授業を大切にし、基礎・基本となる学力の定着に努める意欲
- ・自己の時間管理を行い、毎日の継続的な家庭での学習習慣を身につける態度
- ・上級学校のオープンキャンパスやホームページ等を活用して、進路目標の実現に向けて自ら情報収集を行う積極性

### 1年次の目標

- ・自己と向き合い将来の進路について考える中で、文系・理系の選択に向けた調査を行い、各科目の内容を理解した上で文理の決定を行う
- ・基礎基本の定着に向けた家庭学習時間の確保
- ・各科目の特性を理解し、家庭学習において取り組むべき内容を理解する

### 2年次の目標

- ・具体的な進路目標の設定を行うことで、3年次に向けた科目履修登録に備える
- ・文系、理系の専門科目が増えていく中で、家庭における学習の積み重ねの大切さを再認識する

### 3年次の目標

- ・1、2年次に身につけた力をもとに、発展的内容を習得することに意欲的に取り組む
- ・進路実現に向けて日々の授業を大切にしながら、家庭学習により一層の努力を行う

### 学ぶ皆さんへの助言・アドバイス

5教科の授業は学年が上がるにつれて難易度が増していきます。授業での積み残しが無いように1時間、1時間を大切にしてください。分からないことをそのままにしておくことが最も良くない態度です。「ある授業の内容が理解できない」→「次の授業が更に分からない」→……という負のスパイラルに陥らないよう、授業中や授業後に先生に質問をして理解することに努めましょう。

自己の進路実現に向けて各学年に応じた進路意識が大切です。1年生では将来の「進路分野・方面」、2年生では「具体的な志望校の決定」が最低ラインです。進路目標がはっきりとすることで、日々の授業に対する意欲も変わってくるはずです。自己と向き合い、将来を見つめることが高校生にとって大切なこととなります。

自己の進路実現に向けて日々の授業を大切に、家庭学習の習慣をつけ、模擬試験で力試しを行い、出来なかったことを家庭学習や先生に質問をして補っていく、という生活ができるようにしましょう。

	教科	科目	
1	国語	現代文B	
2	国語	古典B	
3	地理歴史	地理B	
4	数学	数学Ⅱ	
5	数学	数学B	
6	理科	物理基礎	
7	理科	生物基礎	
8	理科	化学	
9	保健体育	体育	
10	保健体育	保健	
11	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
12	外国語	英語表現Ⅱ	
13	情報	社会と情報	

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		国語 現代文B	単位	2	履修区分	必修・選択
対象学年・類型・コース		2年 普通科・総合学科				
使用教科書		『新編 現代文B』教育出版(現B328)				
副教材		カラー版 新国語便覧(第一学習社)				
目標とする生徒の将来像		国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。				
評価の観点		①【関心・意欲・態度】国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 ②【話す・聞く能力】目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 ③【書く能力】相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 ④【読む能力】文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 ⑤【知識・理解】伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法 ※テスト=定期考査含	自己評価	
1 学期	第1回定期試験 5/21~	・セレンディピティ	・日常のささいなことに目を向け、自分の関心の幅を広げる ・自分の考えが的確に伝わるよう工夫する力(構成・文体など)	④ノート・発言 ③作文 ④テスト ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C A B C	
	第2回定期試験 7/3~	・ゲラダヒヒの平和社会 ・現代の俳句・短歌	・科学的な文章から筆者の主張を正確に読み取る力 ・日本の伝統文化としての俳句や短歌を鑑賞し、独自の技法を学ぶ ・ことばや表現から作品世界を深める想像力	④ノート・発言 ⑤音読 ③短歌・俳句作品 ④テスト ②グループワーク ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C A B C A B C A B C	
2 学期	第3回定期試験 10/2~	・山月記	・作品に込められた寓意を受け取り、自身の問題として捉え直す姿勢 ・漢文的な表現を理解し、味わう力	①授業態度の観察等 ③作文 ②相互評価 ④プリント・テスト	A B C A B C A B C A B C	
	第4回定期試験 12/4~	・かんじんなことは、目に見えない? ・菊	・学術的な文章に触れ、多様な表現を学ぶ。 ・恋愛という主題を通して、自分の生き方を見つめ直す姿勢	⑤音読・小テスト ④プリント・テスト ②グループワーク ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C A B C	
3 学期	第5回定期試験 2/22~	・ミロのヴィーナス	・抽象的な言葉が何を指しているのか読み取る力 ・論理的な文章の構成を学び、自分の文章も筋道を立てて書くことができる	④ノート・発言 ②発表 ④テスト ③小論文 ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C A B C A B C	
検定資格(時期)		漢字能力検定を年に3回、校内で受検できる機会を用意する。(8月・12月・2月) 受検費用は級に応じて2000~4000円)2級に合格した場合は「国語総合」に1単位増単できる。				
履修にあたって		1年次で習得した知識や考え方をもとにして、就職試験から大学入試まで幅広く対応する思考力・読解力の養成を目指す。国語は暗記科目ではない。常に自分の頭で考える姿勢を持ってほしい。今年度も漢字テストを行うので、丁寧に、投げ出さず、全回合格を!				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		国語・古典B		単位	2	履修区分		必修	必修
対象学年・類型・コース		2年 普通科/総合学科							
使用教科書		『精選 古典B 改訂版』三省堂							
目標とする生徒の将来像		古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育むことができる。							
評価の観点		①関心・態度・意欲: 古典を読む力を進んで高め、古典についての理解や関心を深めようとしている。 ②読む能力: まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。 ③知識・理解: 伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。							
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付きたい力	主たる評価の観点・(方法)	自己評価				
1学期	第1回定期試験	○漢文 「桃花源記」  ○説話『古今著聞集』 「大江山」	・桃花源の状況と、そこに到達できる人間の条件とを理解する。  ・和歌の修辞法や歌合をめぐる登場人物のやりとりを理解し、説話の世界を読み味わう。	①「桃花源」という言葉の淵源としての話に関心を持つようとしている。(行動の観察) ③基本的な句法・語法を理解している。(記述の点検) ②文章を通して、登場人物の行動の意味を読み取っている。(記述の確認) ③和歌の修辞法について理解している。(記述の点検)	ABC 評価				
	第2回定期試験	○随筆『方丈記』鴨長明 「ゆく河の流れ」 「養和の飢饉」  ○漢文小話 「季札挂剣」 「漱石枕流」 「梁上君子」	・筆者の無常観や人生観を読み取るとともに、当時の社会状況について理解する。  ・比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。	①内容を踏まえて筆者の考え方や当時の社会状況を理解しようとする。(行動の観察) ②筆者の無常観や人生観を読み取っている(記述の確認) ②登場人物の考え方を読み取っている。(記述の確認)	ABC 評価				
2学期	第3回定期試験	○随筆『枕草子』清少納言 「春はあけぼの」 「雪のいと高う降りたるを」  ○物語『源氏物語』紫式部 「光源氏の誕生」	・筆者の美意識やものの見方を読み取るとともに、当時の宮廷生活について理解する。  ・登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、『源氏物語』への理解を深め、興味関心を高める。	②筆者の美意識や機知を読み取っている。(記述の確認) ②登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取っている。(記述の確認) ③基本的な敬語法について理解している(記述の点検)	ABC 評価				
	第4回定期試験	○漢文史伝『史記』司馬遷 「史記」	話の展開を読み取るとともに、古代中国の歴史が持つおもしろさや登場人物の魅力を読み味わう。	①著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。(行動の観察) ②話の展開を理解する(記述の確認)	ABC 評価				
3学期	第5回定期試験	○歌物語『伊勢物語』 「月やあらぬ」  ○軍記『平家物語』 「忠度の都落ち」  ○歴史物語『大鏡』 「弓争ひ」	・登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、和歌の読解と鑑賞を通して歌物語の特徴を理解する。 ・音読を通して語り物の特徴を知るとともに、生死に直面した人間の行動を通して、生き方についての考えを深める。 ・歴史物語の特徴と文学史的意義を理解する。	①物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとしている。(行動の観察) ③歌物語の特徴を理解している(記述の点検) ②登場人物の置かれた状況やその心情を読み取っている。(記述の確認) ①登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている(行動の観察)	ABC 評価				
履修にあたって		古語辞典や漢和辞典、文法書等を使い、予習に取り組んだり自分で現代語訳したりする姿勢を身につけてほしい。また、授業のポイントを押さえたノート作りに取り組み、積極的な復習ができるよう活用する。							

教科・科目	地理歴史・地理B	単位数	2	必修修	・(必修)・	選択
学年・系列・コース	2年 普通科(理系)					
使用教科書	新詳地理B・新詳高等地図	副教材	最新地理図表GEO			
目標とする生徒の将来像	空間的な視野から人間社会のあり方を把握し、さまざまな現代社会の問題に対する「考え方」を育成し、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。					
評価の観点	①授業中の関心・意欲・態度、発問に対する思考・判断(10%) ②まとめプリントやノートの作業・整理状況などの表現・処理(10%) ③定期考査による知識・理解(80%)					
学期	単元・教材	主たる目標・つけたい力				評価の観点
1 学期	I部 1章 地理情報と地図 2章 地図の活用と地域調査 II部 1章 自然環境 1節 世界の地形 2節 世界の気候 3節 日本の自然の特徴と人々の生活 4節 環境問題	・地球の球体としての特徴とこれを地図に表現した場合の長所短所、時差の計算法を理解し、その知識を身につけている。 ・世界の大地形、小地形、その他の地形について、系統地理的に捉える視点や考察方法、人間生活との関わりなどを理解し、その知識を身につけている。 ・世界の気候の成因、各気候区の特徴について、系統地理的に捉える視点や考察方法、人間生活への影響などを理解し、その知識を身につけている。 ・日本の地形と気候の特徴とこれによって生じる自然災害の特徴について、系統地理的に捉える視点や考察方法、これに対する防災のあり方を理解し、その知識を身につけている。 ・世界の環境問題の概要と対策、地球温暖化、森林破壊、砂漠化の事例、日本の環境問題の特徴と対策について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。				①②③
2 学期	2章 資源と産業 1節 産業の発達と変化 2節 世界の農林水産業 3節 食料問題 4節 世界のエネルギー・鉱産資源	・自然環境との関わりやグローバル化の視点から、産業がどのように発達し変化しているかについて、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。 ・各農業地域の分布や特徴、世界や日本の農業の動向について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。 ・発展途上国、先進国、日本の食料事情の動向について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。 ・エネルギー資源・鉱産資源の種類と利用法、分布や動向などについて、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。				①②③
3 学期	5節 資源・エネルギー問題 6節 世界の工業 7節 第3次産業	・資源やエネルギーの不均衡や石油情勢、エネルギーのあり方について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。 ・各工業や工業地域の特色、分布や動向などについて、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。 ・商業やサービス業、観光業の特色や動向などについて、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。				①②③
検定資格(時期) 諸費用(予定)	なし					
履修にあたって	日頃から国内外の情勢に興味を持ち、知らない場所がでてきたらすぐに地図帳を開く習慣を身につけよう。それだけで世界に対する意識は変わるはず。また、私たちが生きる地域や世界に広く興味を持ち、よりよい生活を送るためにはどうしたらよいのかを考えよう。授業では、白地図作業があるので、色鉛筆を準備しておこう。					

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		数学Ⅱ+B		単位	6	履修区分	必修・必修・選択
対象学年・類型・コース		2年普通科 理系					
使用教科書		数研出版 新編 数学Ⅱ 改訂版、数研出版 新編 数学B 改訂版					
目標とする生徒の将来像		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な計算力と、基本的な問題解決能力が身につけている</li> <li>・数学を利用して、身近な事象を考察する力が身につけている</li> </ul>					
評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査による評価80点分</li> <li>・授業の取り組む姿勢、課題提出、小テストの結果を総合的に考慮した20点分</li> </ul>					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価		
1 学期	第1回定期試験 (数学Ⅱ)	第1章 式と証明 1. 式と計算 2. 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 1. 複素数と2次方程式の解 2. 高次方程式(前半)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復習</li> <li>・展開公式、因数分解ができる</li> <li>・等式や不等式が証明できる</li> <li>・複素数の四則演算を理解できる</li> <li>・解と係数の関係を利用し、2次方程式を因数分解できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な計算を理解し、意欲的に問題を解こうとしているか</li> <li>・定期試験</li> <li>・課題</li> </ul>			
	第2回定期試験 (数学Ⅱ)	3. 高次方程式(後半) 第3章 図形と方程式 1. 点と直線 2. 円 3. 軌跡と領域 第4章 三角関数 1. 三角関数(前半)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直線の方程式を求めることができる</li> <li>・2直線の平行・垂直条件を理解して活用できる</li> <li>・円の方程式を理解する</li> <li>・不等式の満たす解が座標平面上の集合として理解できる</li> <li>・弧度法を理解し、活用できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座標平面における直線、円の表し方が理解できているか</li> <li>・一般角や弧度法が理解できたか</li> <li>・定期試験</li> <li>・課題</li> </ul>			
2 学期	第3回定期試験 (数学Ⅱ)	2. 三角関数(後半) 3. 加法定理 第5章 指数関数と対数関数 1. 指数関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角関数のグラフやグラフの特徴を理解する</li> <li>・加法定理を利用して計算できる</li> <li>・指数の範囲を実数に拡張し種々の計算をすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角関数のグラフの特徴、指数の基本的な計算が理解できたか</li> <li>・定期試験</li> <li>・課題</li> </ul>			
	第4回定期試験 (数学Ⅱ・B 2科目)	2. 対数関数 第1章 平面上のベクトル 1. ベクトルとその演算 2. ベクトルと平面図形 第2章 空間のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指数と対数の関係を理解できる</li> <li>・ベクトルの基本的事項を理解できる</li> <li>・線分の内分点・外分点、三角形の重心の位置ベクトルを表すことができる</li> <li>・空間図形を、図や座標を利用して表すことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対数の基本的な計算を理解しているか</li> <li>・平面・空間ベクトルの定義を理解し、計算できるか</li> <li>・定期試験・課題</li> </ul>			
3 学期	第5回定期試験 (数学Ⅱ・B 2科目)	第3章 数列 1. 等差数列と等比数列 2. いろいろな数列 3. 数学的帰納法  第6章 微分法と積分法 1. 微分係数と導関数 2. 関数の値の変化 3. 積分法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・等差数列や等比数列の一般項やその和を理解し、求めることができる</li> <li>・漸化式を理解し、一般項を求められる。</li> <li>・平均変化率、微分係数、導関数の定義を理解し、それらを求められる</li> <li>・関数の極値や最大値・最小値を求めることができる</li> <li>・不定積分の定義や基本性質を理解し、不定積分を計算できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な数列の一般項求められるか</li> <li>・微分の定義を理解しているか</li> <li>・積分を理解し、積分を利用して様々な図形の面積を求められるか</li> <li>・定期試験</li> <li>・課題</li> </ul>			
検定資格		数学検定(2級・準2級程度)					
履修にあたって		数学に苦手意識を持っている生徒も多いと思います。高校の数学はすべて内容がつながっていますので、しっかりと復習をしておきましょう。特に基本的な計算は訓練をしておくことが大切です。学び直しのプリントを活用して、復習もしていきましょう。					

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		理科・物理基礎	単位	2	履修区分	必履修・必修・選択	
対象学年・類型・コース		2年・普通科					
使用教科書		東京書籍 「改訂 新編物理基礎」(物理3)					
目標とする生徒の将来像		<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心と探究心をもって自然の事物・現象を物理学的に考察できる生徒。</li> <li>・目的意識をもって観察・実験を行い、結果から新たな発見を見いだそうとする生徒。</li> </ul>					
評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>①【関心・意欲・態度】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動に積極的に参加したか。</li> <li>・提出物の作成に意欲的に取り組んだか。</li> </ul> </li> <li>②【思考・判断】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・物理学的思考の「過程」を行えているか。</li> </ul> </li> <li>③【実験の技能】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験を安全に遂行できたか。</li> <li>・それぞれの操作の意味を理解し、正確にできたか。</li> </ul> </li> <li>④【知識・理解】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・物理学について、基本的な知識を身につけることができたか。</li> </ul> </li> </ul>					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価		
1 学期	第1回 定期試験	1-1章：直線運動の世界 速さ ～ 等加速度運動(2)	・運動の表し方、相対速度、及び等加速度直線運動に関する基本的な概念や公式を学び、運動を解析する方法を身につけている。	①観察・提出物 ②観察・試験 ③観察・提出物 ④定期試験	A B C A B C A B C A B C		
	第2回 定期試験	1-1章：直線運動の世界 自由落下 ～ 1-2章：力と運動の法則 力の合成と分解	・等加速度直線運動をもとにして、多くの複雑な運動の理解に至ることを知り、運動の多様性と簡単な解析の方法を習得し、考察できる。	①観察・提出物 ②観察・試験 ③観察・提出物 ④定期試験	A B C A B C A B C A B C		
2 学期	第3回 定期試験	1-2章：力と運動の法則 作用・反作用の法則 ～ 抵抗力と浮力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物体にはたらいている力を正しく見だし、運動方程式を立てることができる。</li> <li>・摩擦力、及び液体や気体から受ける力(圧力、浮力、抵抗力)について説明できる。</li> </ul>	①観察・提出物 ②観察・試験 ③観察・提出物 ④定期試験	A B C A B C A B C A B C		
	第4回 定期試験	1-3章：仕事とエネルギー 仕事 ～ 2-1章：熱 熱の移動と保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事・仕事の原理・仕事率・エネルギーという基本的な概念を学び、力学的エネルギー保存の法則について成立条件を含めて知識を活用できる。</li> <li>・熱力学の基本について学び、法則・公式を活用できる。</li> </ul>	①観察・提出物 ②観察・試験 ③観察・提出物 ④定期試験	A B C A B C A B C A B C		
3 学期	第5回 定期試験	2-1章：熱 熱と仕事 ～ 2-2章：波 振動する気柱	・波動に関する事象・現象についての基本的な概念を形成している。	①観察・提出物 ②観察・試験 ④定期試験	A B C A B C A B C		
検定資格		なし					
履修にあたって		<p>答えより、なぜそのような答えを導き出せるのかといった過程に意味があります。公式や法則を丸暗記といった学習ではなく、なぜその公式を使うのか、どういった法則なのかを「説明できる」を目標に学習を行ってください。問題演習の際も、式と答えだけではなく、言葉でその式を使う根拠や、説明を加えるよう心がけましょう。</p>					

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		理科 生物基礎	単位	2	履修区分	必修・必修・選択
対象学年・類型・コース		2年 普通科				
使用教科書		『改訂 生物基礎』東京書籍(生基311)				
副教材						
目標とする生徒の将来像		遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。				
評価の観点		①【関心・意欲・態度】生物や生物現象について関心をもち、意欲的に考えるとともに、科学的な見方や考え方を身につける。 ②【思考・判断・表現】生物や生物現象を科学的に考え、的確に説明する。 ③【観察・実験の技能】生物や生物現象について観察・実験の基本操作を習得する。 ④【知識・理解】生物や生物現象について、基本的な知識を身につける。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付きたい力	主たる評価の観点・方法 ※テスト=定期考査含	自己評価	
1 学期	第1回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の多様性と共通性</li> <li>生命活動とエネルギー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の基本単位は細胞であること。</li> <li>生命活動のエネルギーはATPのエネルギーが利用されること。</li> <li>代謝には必ず酵素が関与している。</li> </ul>	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C	
	第2回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物と遺伝子</li> <li>遺伝情報の分配</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝子の本体がDNAであること。</li> <li>DNAはヌクレオチドがつながった高分子化合物であること</li> <li>DNAの塩基配列が遺伝情報になっていること。</li> <li>体細胞分裂の過程において遺伝情報が均等に分配されることを理解する。</li> <li>細胞周期の過程を理解する。</li> </ul>	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等 ②③実験レポート	A B C A B C A B C A B C	
2 学期	第3回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝情報とタンパク質の合成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セントラルドグマを理解する。</li> <li>ゲノムとは何か。</li> </ul>	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C	
	第4回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>体内環境</li> <li>体内環境を維持するしくみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体内環境を理解する。</li> <li>肝臓や腎臓を学び、体内環境を維持していること。</li> <li>自律神経系による調節と内分泌系による調節。</li> </ul>	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等 ②③実験レポート	A B C A B C A B C A B C	
3 学期	第5回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>免疫</li> <li>植生の多様性と遷移</li> <li>バイオームとその分布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然免疫と適応免疫。</li> <li>予防接種や血清療法といった治療法があること。</li> <li>アレルギーや自己免疫疾患、エイズなどの発症。</li> <li>植生の決定要因。</li> <li>植生の遷移。</li> <li>バイオームと気候の関係。</li> <li>日本のバイオームについて。</li> </ul>	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C	
検定資格(時期) 諸費用(予定)		なし				
履修にあたって		授業で指示された問題は必ず解けるようにする。 いつも「なぜ？」という疑問は持ち続け、自分で調べる。 問題集の問題は、完全に理解できるまで繰り返し解く。 定期試験、模擬試験の問題は必ず取って置き、間違えたところは必ず出来るようにする。				



教科・科目	理科・化学	単位数	3	選択
学年・系列・コース	2年普通科 理系			
使用教科書	改訂 新編化学	副教材	ニューサポート化学	
目標とする生徒の将来像	日常生活や社会との関連を図りながら化学への関心を高め、探究活動を行い、学習内容を深めるとともに、化学的に探究する能力を高めることのできる生徒。			
評価の観点	①関心・意欲・態度:授業や実験に意欲的に取り組み、化学の法則性を追求する姿勢。 ②科学的な思考・表現:実験や観察から科学性・法則性を見だし、考え、生徒自身の言葉で表現を行う。 ③実験・観察の技能:実験や観察を、定められた方法で正しく実施し、目的に沿った結果を導く能力。 ④知識・理解:実験や観察より導かれる理論や原理を理解し、習得する能力。			

学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期考査	第1編 物質の状態・状態変化 物質の状態と熱運動 三態変化と熱エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱運動と拡散, 物質の三態と状態変化</li> <li>水の状態変化とエネルギー, 融解熱, 蒸発熱</li> <li>分子間力の意味と水素結合</li> </ul>	① 授業態度・提出物 25 ② 実験 10 ③ 定期考査 15 ④ 実験 15 ⑤ 定期考査 10 ⑥ 定期考査 20 ⑦ プリント 5	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C
	第2回定期考査	分子間力と融点・沸点 気体の圧力 蒸発と蒸気圧	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱運動と蒸発, 気液平衡, 蒸気圧と蒸気圧曲線, 沸騰, 沸点と大気圧</li> <li>分子の運動と圧力, 圧力の単位と大気圧</li> <li>ボイル・シャルルの法則と絶対温度, 絶対零</li> <li>[観察実験1]を通じてボイルの法則をより深く理解する</li> </ul>	① 授業態度・提出物 25 ② 実験 10 ③ 定期考査 15 ④ 実験 15 ⑤ 定期考査 10 ⑥ 定期考査 20 ⑦ プリント 5	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C
2 学期	第3回定期考査	溶液の性質・溶解平衡 溶解と溶液	<ul style="list-style-type: none"> <li>イオン結晶・分子結晶の溶解と水和, 水和イオン, 物質の極性と溶解, 溶液の質量%濃度, モル濃度, 質量モル濃度</li> <li>電解質と電離, 非電解質</li> <li>飽和溶液と溶解平衡, 溶解度と溶解度曲線, 再結晶</li> </ul>	① 授業態度・提出物 25 ② 実験 10 ③ 定期考査 15 ④ 実験 15 ⑤ 定期考査 10 ⑥ 定期考査 20 ⑦ プリント 5	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C
	第4回定期考査	希薄溶液の性質 ・沸点上昇 ・凝固点降下 ・浸透圧	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気圧降下と沸点上昇, 沸点上昇度とモル濃度の関係, モル沸点上昇</li> <li>凝固点降下度と質量モル濃度</li> <li>浸透現象, 浸透圧とファントホッフの法則, 浸透圧と気体の状態方程式</li> </ul>	① 授業態度・提出物 25 ② 実験 10 ③ 定期考査 15 ④ 実験 15 ⑤ 定期考査 10 ⑥ 定期考査 20 ⑦ プリント 5	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C
3 学期	第5回定期考査	コロイド ・疎水コロイドと親水コロイド ・コロイドの性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロイド粒子とコロイド溶液, ゾルとゲル</li> <li>チンダル現象, ブラウン運動, 透析, 電気泳動, コロイド粒子の帯電</li> </ul>	① 授業態度・提出物 25 ② 実験 10 ③ 定期考査 15 ④ 実験 15 ⑤ 定期考査 10 ⑥ 定期考査 20 ⑦ プリント 5	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C
検定資格(時期) ・ 諸費用(予定)	特になし				
履修にあたって	本科目は、1年次の化学基礎の続きとして実施するため、1年次の進度によっては内容が変化する。座学を中心にビデオや実験・観察を行う。 理科の教科の本質として、実験や観察から分かったことを偏見無く考え、表現することが大切である。単に暗記に走らず、なぜこのような現象が起こるのか、その原理を追求してほしい。				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		保健体育・体育		単位	2	履修区分	○必履修	・必修	・選択
対象学年・類型・コース		2年普通科							
使用教科書		なし							
目標とする生徒の将来像		<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間やルールを厳守し、率先して与えられた役割を確実にこなそうとする、責任感のある生徒。</li> <li>・運動の技能や知識を身につけ、高めていくために努力を継続することができる生徒。</li> <li>・積極的に活動に参加し、自己表現や他者への配慮などのコミュニケーションをとろうとする、信頼できる生徒。</li> </ul>							
評価の観点		<p>①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。</p> <p>②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。</p> <p>③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が発揮できているか。</p> <p>④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。</p>							
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価				
1 学期	第1回定期試験	・体づくり運動（体力を高める運動、集合、整頓、列の増減、集団としての行動）	・基礎的な運動能力を身につける ・大きな声を出すとともに、迅速に集団としての協調的な動きができるようになる。	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C A B C A B C A B C				
	第2回定期試験	・ソフトボール（男子） ・バレー（女子）	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C				
2 学期	第3回定期試験	・ペース走	・自己に適したペースを維持して走ったり、ペースの変化に対応して走ったりする。徐々に記録を向上させる努力をする。	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C				
	第4回定期試験	・体づくり運動（体力を高める運動、体ほぐしの運動） ・バスケ（男子） ・サッカー（女子）	・体づくり運動 体動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力向上をはかる。 ・バスケ、サッカー 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C				
3 学期	第5回定期試験	・バスケ（男子） ・サッカー（女子） ・体育理論	・バスケ、サッカー 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。 ・体育理論 生涯豊かなスポーツライフを送る上で必要となるスポーツに関する科学的知識を身につける。	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C				
検定資格(時期)		なし							
諸費用(予定)		なし							
履修にあたって		チャイム前には整列をし、大きな声で挨拶・体操をすることで体育の授業は始まります。お互いに100%で授業に臨みましょう。							

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		保健体育・保健		単位	1	履修区分	○ <b>必修</b> ・必修 ・選択	
対象学年・類型・コース		2年普通科						
使用教科書		現代高等保健体育・現代高等保健体育ノート						
目標とする生徒の将来像		<ul style="list-style-type: none"> <li>健康問題に対して、課題解決をするために、自ら考え、発表したり記述したりできる生徒。</li> <li>生涯にわたって健康を保持増進することができる知識を身につけ、それを活用することができる生徒。</li> </ul>						
評価の観点		<p>①【関心・意欲・態度】 健康問題に対し、興味・関心を持ち、個人であるいは仲間とともに積極的に課題解決をしようとしているか。</p> <p>②【思考・判断】 健康問題を解決するために、個人であるいは仲間とともに工夫したり、協力したりし、考えを見いだしているか。</p> <p>③【知識・理解】 健康問題やそれを解決するための知識を理解し、発言したり記述したりしているか。</p>						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価			
1 学期	第2回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>思春期と健康</li> <li>性意識と性行動の健康</li> <li>結婚生活と健康</li> <li>妊娠・出産と健康</li> <li>家族計画と人工妊娠中絶</li> <li>加齢と健康</li> <li>高齢者のための社会的取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女の体のしくみや性意識の違、結婚生活、高齢者の身体や社会的対策について、理解し、理解したことを発言したり記述したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観察</li> <li>②観察</li> <li>③テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A B C</li> <li>A B C</li> <li>A B C</li> </ul>			
2 学期	第4回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>保険制度とその活用</li> <li>医療制度とその活用</li> <li>医薬品と健康</li> <li>さまざまな保健活動や対策・大気汚染と健康</li> <li>水質汚濁・土壌汚染と健康</li> <li>健康被害の防止と環境対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療・保険制度や環境汚染について、理解し、理解したことを発言したり記述したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観察</li> <li>②観察</li> <li>③テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A B C</li> <li>A B C</li> <li>A B C</li> </ul>			
3 学期	第5回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境衛生活動のしくみと働き</li> <li>食品衛生活動のしくみと働き</li> <li>食品と環境の保健と私たち</li> <li>働くことと健康</li> <li>労働災害と健康</li> <li>健康的な職業生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品の安全衛生面での対策、働くことの意義や労働問題について、理解し、理解したことを発言したり記述したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観察</li> <li>②観察</li> <li>③テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A B C</li> <li>A B C</li> <li>A B C</li> </ul>			
検定資格(時期)		なし						
諸費用(予定)								
履修にあたって		現在や将来の日常生活をよりよく生活をしていくために必要な内容を学習します。発言やグループワークなども積極的に行い、主体的に授業に臨みましょう。						

平成 30 年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		コミュニケーション英語Ⅱ	単位	3	履修区分	履修
対象学年・類型・コース		2年普通科 理系				
使用教科書		New Flag English CommunicationⅡ				
目標とする生徒の将来像		言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うと共に、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。				
評価の観点		① 定期試験 ② 授業内小テスト ③ 授業活動への参加状況 ④ 提出物				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価	
1 学期	第1回定期試験	Chapter1 Sakura Michi	・本文の内容を理解し、筆者の気持ちをくみ取ろうと努めることができる。扱われている文法項目を理解し、自分で表現できる。	・定期試験 ・授業活動への参加 ・提出物 ・授業内小テスト		
	第2回定期試験	Chapter 2 Learning English Chapter 3 Interview with Rosa Parks	本文の内容を理解し、筆者の気持ちをくみ取ろうと努めることができる。扱われている文法項目を理解し、自分で表現できる。	・定期試験 ・授業活動への参加 ・提出物 ・授業内小テスト		
2 学期	第3回定期試験	Chapter4 Communication Breakdown Chapter5 Rise Again, Motala!	本文の内容を理解し、筆者の気持ちをくみ取ろうと努めることができる。扱われている文法項目を理解し、自分で表現できる。	・定期試験 ・授業活動への参加 ・提出物 ・授業内小テスト		
	第4回定期試験	Chapter6 A Delicious Japanese Culture : Bento Chapter7 Palme Oil from Diamond Island	本文の内容を理解し、筆者の気持ちをくみ取ろうと努めることができる。扱われている文法項目を理解し、自分で表現できる。	・定期試験 ・授業活動への参加 ・提出物 ・授業内小テスト		
3 学期	第5回定期試験	Chapter8 I Made It! Chapter9 If I Hadn' t Met...	本文の内容を理解し、筆者の気持ちをくみ取ろうと努めることができる。扱われている文法項目を理解し、自分で表現できる。	・定期試験 ・授業活動への参加 ・提出物 ・授業内小テスト		
検定資格(時期) ・ 諸費用(予定)		実用英語技能検定 年間3回(6月、10月、1月) 3級(3400円)、準2級(4800円)、2級(5400円)				
履修にあたって		・毎時間の授業に、必ず辞書を持参すること。				

平成 30 年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		英語表現Ⅱ	単位	2	履修区分	履修
対象学年・類型・コース		2年普通科				
使用教科書		be English Expression 1 Standard 及び be English Expression Ⅱ				
目標とする生徒の将来像		言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うと共に、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。				
評価の観点		① 期試験 ② 授業活動への参加状況 ③ 提出物				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価	
1 学期	第1回定期試験	Lesson12 Lesson13 Lesson14	・使役的な意味で使う不定詞・原形不定詞について理解し、それを活用した表現活動ができる (L12) ・動名詞について理解し、それを活用した表現活動ができる。(L13) ・不定詞と動名詞の違いを意識して、表現活動ができる。(L14)	・定期試験 ・授業活動への参加 ・提出物		
	第2回定期試験	Lesson15 Lesson16 Lesson17 Lesson18	・分詞の形容詞的用法について理解し、それを活用した表現活動ができる。(L15) ・分詞構文を含む、様々な形の分詞を理解し、それを活用した表現活動ができる。(L16) ・関係代名詞を理解し、それをを用いた表現活動ができる。(L17&18)	・定期試験 ・授業活動への参加 ・提出物		
2 学期	第3回定期試験	Lesson19 Lesson20 Lesson21 Lesson22	・関係副詞、複合関係代名詞について理解し、それを活用した表現活動ができる。(L19) ・比較級について理解し、それを活用した表現活動ができる。(L20) ・最上級について理解し、それをを用いた表現活動ができる(L21) ・仮定法について理解し、それを活用した表現活動ができる (L22)	・定期試験 ・授業活動への参加 ・提出物		
	第4回定期試験	Lesson23 Lesson24 Lesson25 Lesson1	・様々な仮定法について理解し、それを活用した表現活動ができる。(L23) ・接続しや that 節について理解し、それをを用いた表現活動ができる。(L24&25) ・動詞の時制に注意して将来について表現することができる。(L1)	・定期試験 ・授業活動への参加 ・提出物		
3 学期	第5回定期試験	Lesson2 Lesson3 Lesson4	・動詞の文構造を理解して表現活動ができる。(L2) ・助動詞について理解して表現活動ができる (L3) ・名詞について理解して表現活動ができる。(L4)	・定期試験 ・授業活動への参加 ・提出物		
検定資格(時期)		実用英語技能検定 年間3回(6月、10月、1月)				
諸費用(予定)		3級(3400円)、準2級(4800円)、2級(5400円)				
履修にあたって		・毎時間の授業に、必ず辞書を持参すること。 ・授業内ではジェラルディーン先生との活動もあります。				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	社会と情報	単位	2	履修区分	・必修
対象学年・類型・コース	普通科 2年				
使用教科書	最新社会と情報 (実教出版)		7実教 社情302		
目標とする生徒の将来像	<p>1. 情報化と情報産業の発展が、社会にどのような影響を与えているかを理解する。</p> <p>2. 情報や情報モラルに関する基礎知識を習得する。</p> <p>3. 情報活用能力を身に付け、社会の発展に寄与する能力と態度を身に付ける</p>				
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】情報の各分野に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・技能】情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、情報社会に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。</p> <p>【技能】情報の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。</p> <p>【知識・理解】情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。</p>				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	・教科書 ・ビジネス文書検定模擬試験問題集	・パソコンの基本的操作方法や、ワープロソフトを使用したタイピングの基礎を学ぶ。希望者は7月の検定試験受験可能。	【技】【関】	
	第2回定期試験	・教科書 ・ビジネス文書検定模擬試験問題集	引き続きワープロソフトを十集するとともに、情報科社会の問題点などについて学習する。	【知】【関】【技】【思】	
2 学期	第3回定期試験	・教科書	・個人情報や知的財産権 (著作権や肖像権など) について学び、自分自身がインターネットを使用する際のマナーについても考える。	【関】【思】【技】	
	第4回定期試験	・教科書 ・情報処理検定模擬試験問題集	・ハードウェアやソフトウェアの仕組みについて学ぶ。また、表計算ソフトを使った処理について実習する。希望者は検定試験受験可能。	【知】【関】【技】【思】	
3 学期	第5回定期試験	・教科書	・情報を伝えるための工夫や技術などについて考え、実習する。	【知】【関】【技】【思】	
検定資格(時期) ・諸費用(予定)	希望者は、総合学科 (情報観光系列) で実施している全国商業高等学校協会主催・ビジネス文書実務検定試験・情報処理試験を受験することができる。費用は級によって異なるが、1000円から2000円。				
履修にあたって	実習が多くなりますので意欲的な参加を求めます。機器操作が苦手な人・初めての人も基礎から行いますので安心して下さい。スマートフォン、著作権の問題など、これからの情報科社会で必要不可欠な知識も学びます。				